

桜小おやじの会ニュース^o VOL. 3 (2007.12.3)

発行：桜小おやじの会（会長 福田）

電話：957-5033

事務局：桜小学校 教頭阿武

校内マラソン大会を見て

11月20日に桜小学校の「校内マラソン大会」が開催されました。

当日は、北日本では大雪が降り、関東もとても寒い一日でしたが、子供達は寒さにも負けずに頑張っていました。

マラソン大会の実施に当たっては、PTAの役員さん、桜小の教職員が子供達の安全のためマラソンコースのあちこちに、寒さに堪えながら立会し、大きな事故も無く無事に終了することが出来ました。ご苦労様でした。

また、父母の方々も我が子の力走を見るべく、ざっと見て100名近くの見学があったように思います。その中にはおやじさん達の姿もちらほらですが見受けられたので、そういうおやじさん達には是非とも、自分の子供の成長を楽しむだけでなく、他の子供達の成長も一緒に見守る気持ちを持ってもらえればなぁと思います。（出来ればおやじの会にも参加してもらえると有り難いですねえ）

当日、会長である私はたまたま別件で午前中休みを取っていたこともあり、急遽お手伝いに参上しコース整理を行いました。

コース整理をしながらですが子供たちを見ていて思ったことは、一時期「運動会では順位を付けない」というようなことを行う学校や幼稚園があるという話を聞いたことがあります。

しかしながら、子供達には「あいつには負けたくない」という気持ちを持った子が多く見受けられ、最後までデッドヒートを繰り広げ、良い意味でのライバル心が芽生えつつあるように見受けられました。このような子供達は総じて何らかのスポーツを行っている子供であろうと思われ、前号でも書きましたが、子供にスポーツをさせることは重要なことだと感じました。

ただ、そういった子供たちだけでなく、体力の無い子供はその子なりに最後まで一生懸命完走を目

指して頑張っていました。勝ち負けに拘る気持ちも大切ですが、今、自分が出来る精一杯の力で最後まで頑張る気持ちを持たせることも大変重要なことだと思います。これは、学校だけでなく家庭での対応も重要な要素になると考えます。

サッカーの指導を通じてお母さん方には良く言う事ですが「家ではとにかく褒めてください。たった一つのプレーでも良い所を見つけたらそれを褒めてください。試合中の注意はコーチがしているので、家では絶対に叱らないでください」と。

子供には何らかの形で逃げ道を作っておいてあげないと、子供はどうして良いか分からなくなり、物事への参加の気持ち、積極性の芽を摘んでしまいかねないからです。父母の皆さんは大きな心、寛容な心を持って子供に接してもらえればと思います。子供は褒められれば頑張るし、叱られてばかりだとやる気を無くします。子供は褒めて延ばしましょう。

色々私個人が思ったことを書いてしまい申し訳ありませんが、マラソン大会に参加した全ての子供達の頑張りにもう一度拍手を送りたいと思います。



来年もよろしくお願いします

今年は色々とお難うございました。来年はより多くのおやじさん達の参加を待っています。特にマラソン大会に子供の力走を見に来たおやじさん達、是非おやじの会への参加をお待ちしています。